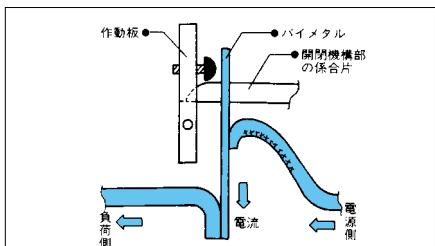


## 引外し方式

### 1. 热動形

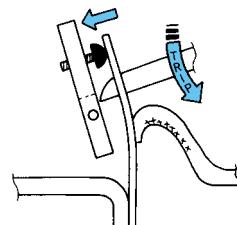
小形で構造が簡単であり、小定格電流、低遮断容量の配線用遮断器に適した方式です。

#### 熱動形の構造

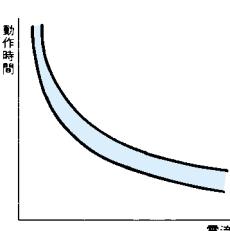


構造は図のようになります。電流は、電源側からバイメタル、負荷側へと流れます。

#### 過電流が流れた場合



#### 熱動形の動作特性

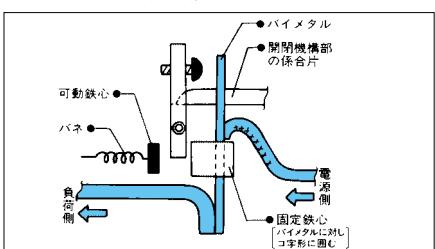


電流が大きければ、発熱量も多く、早くわん曲します。動作特性は図のように電流が増せば動作が早くなる反応時間特性をもっています。

### 2. 热動一電磁形

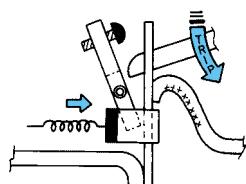
熱動形の引外し素子に定格電流の800%程度以上で動作する電磁引外し素子を加えたものです。

#### 熱動一電磁形の構造

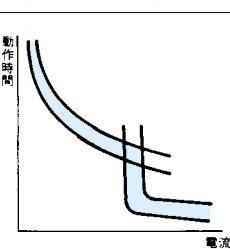


構造は図のようになります。電磁引外し素子の動作する電流値未満では、熱動形と全く同じ動作をします。

#### 大きな電流が流れた場合



#### 熱動一電磁形の動作特性

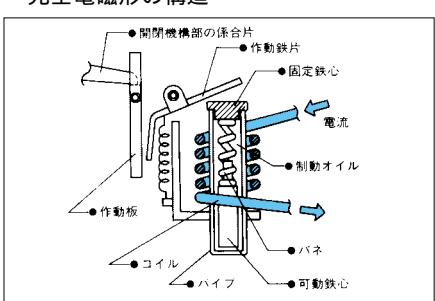


動作機構上、熱動動作 時延引外し 領域と電磁動作 瞬時引外し 領域の和で表されます。

### 3. 完全電磁形

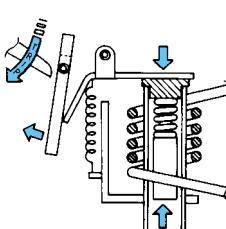
引外し素子にオイルダッシュポットを使用したもので、小容量でも容易に製作できる特長をもっています。

#### 完全電磁形の構造

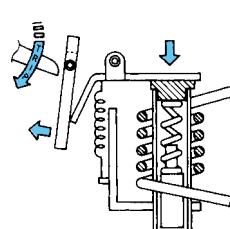


構造は図のようになります。パイプにコイルが巻かれており、このコイルに電流が流れます。

#### 過電流が流れた場合



#### 大きな電流が流れた場合

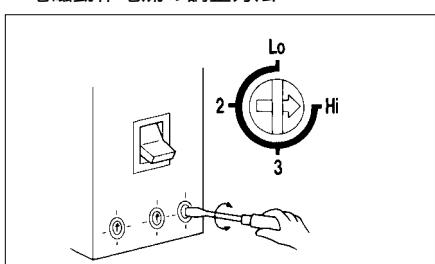


過電流がコイルに流れますと可動鉄心が固定鉄心の方へ吸引されます。吸引されると磁気抵抗が減少し作動鉄片が吸引され作動板を動かし開閉機構部の係合端が外れ、これに連動し可動接点が開き回路を遮断します。

### 4. 热動一可調整電磁形

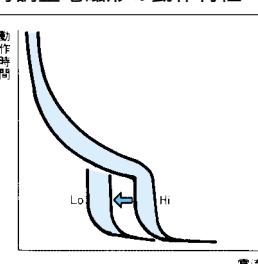
熱動一電磁形で電磁動作の動作電流値を可変できるようにしたものです。

#### 電磁動作電流の調整方法



[Hi] から [Lo] まで4段階もしくは5段階に調整できます。  
各極とも同一位置に合せてください。

#### 熱動一可調整電磁形の動作特性



工場出荷時は [Hi] の位置に合せてあります。

#### メリット

電磁動作(瞬時引外し)電流値を可調整することにより、電動機等の始動電流では動作しないように、またトランス一次側の電力ヒューズとの協調、下位の遮断器との保護協調等を容易に実現することができます。